

長崎南高校関東同窓会

第30回総会

日時●2023年10月28日(土) 14:00~16:30

会場●とんかつ まい泉 青山本店

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-8-5 TEL 0120-428-485

最寄り駅●東京メトロ 表参道駅 A2出口より徒歩3分

会費●総会費 8,000円 維持、継続費 2,000円

※全員着席でコース料理を準備致しますので予約制とし、飛び込みの参加はなしとします。

長崎南高校関東同窓会事務局 連絡先 090-3472-1235

〒183-0056 東京都府中市寿町2-3-11-701 前田方



生成系AIについて 思うこと

会長 江 勝 弘 11回生

する私の見方は、もっともらしい答えを導き出すものの、所詮シミュレーションによるものであり、簡単に間違えるし、人間の理解力には到底及ばないというものです。例えばAIには、「犬が人を噛んだ」と「人が犬を噛んだ」の違いは理解できないのが現実です。

☆

もちろん、囲碁や将棋などの特定分野では人間はAIに勝てなくなっています。AIは電卓と同じだと思えばよいというのが私の意見です。5桁×5桁の掛け算を電卓が瞬時に計算しても誰も驚かないように、AIが瞬時にゲームの形勢判断をして勝てる最善手を打てるのも、すでに驚くようなことはありません。

★

大学でデジタルコンバーター（アナログな情報をデジタルへ変換する装置）を研究して以来、不確実なアナログ情報を「0」か「1」のデジタル情報へ変換するビジネス（生体認証や紙幣鑑別など）に従事してきました。直近では縁あって二松学舎大学でビジネス論の一環としてAIの話も学生にしています。

★

そういう経験から最近の全面礼賛に近い生成系AIブームを見ると、正直心配になってきます。AIに対

いに効率化できる可能性があると思います。

☆

私の現時点での見立ては、AIは超優秀だが、おっちょこちょいのツール。人間がその限界を理解して使いこなせば世の中に役立つが、無条件に信じ込むと、こんなこともできないのかという不信感につながりAIブームは早々に終焉を迎えるというものです。あまりにもクールかもしれませんが：

今、私はAIについてこんなことを考えています。つまりAIには過度の期待も、その逆もすべきではないというのが私の意見です。皆様のご参考になれば幸いです。

◎ 関東同窓会ご参加のお願い

前回、関東同窓会維持費へのご支援をお願いしたところ、約180名の会員の方から振込を頂戴し、無事



に会
報発
行の
資金
がで
きま
した。

大変有難く、まずはこの場を借りて御礼申し上げます。ご支援、本当に有難うございました。

さて今回、表紙にご案内しますように、来る10月28日、4年ぶりの関東同窓会総会を計画しています。会員の皆様におかれましては積極的なご参加をお願いします。

なお、今回は会場の都合で着席の会食形式となりますので、ご参加希望の方は必ず事前のご連絡をお願いいたします。

★

ここからは私の持論になりますが、遠く離れた長崎から何の縁もゆかりもない東京へ出て来られた会員の皆



↑市役所新庁舎展望フロアより

様は、相当苦勞されたのではないかと想像します。そういう意味では同じ高校を出ただけの間柄ではありませんが、損得抜きに相談や、わいわいがガヤと懇親する場があっても良いのと思います。関東同窓会がその役割を果たせるのであれば、これに勝る喜びはありません。

10月28日に皆様にお会いできることを楽しみにしています。関東同窓会会員皆様のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会を分析しましょう

事務局長 7回生 前田幸司

現在の長崎南高校は、2023年4月に入学した生徒が63回生になります。ひとクラス40名で6クラス合計240名だったそうです。

3月に卒業された60回生の進路については、近場では長崎大22名、九州大2名、長崎県立大29名など、私大については、明治―中央―法政2名などの数字となっています。

遠い昔の7回生の記憶をたどると、ひとクラス50名で13クラス、合計650名だったような。成績の順番で10番までが東京大、40番までが九州大、150番までが長崎大、それぞれの合格可能ラインだと噂され、実際にそれなりの合格者がいました。それから特筆するのは650名の内、100名以上は関東へ向かったことです。大学などの進学で、あるいは

仕事で、または予備校へ通うために関東に向かった卒業生も多かったような…。長崎に優秀な予備校がなかったからと言われていました。学力は、実力は、と言う前に、生徒数のスケールの圧倒的な違いを感じてしまいます。

高校入試の合同選抜がなくなった、都市と地方の格差が広がった、極端な少子化が始まった、と諸々の事情により、現在の我が関東同窓会の名簿上の同窓生は約1450名となっています。10回生までが760名(52%)、20回生までが520名(36%)、21回生以降が170名(12%)で構成されています。コロナにより3年間のブランクがありますので多少減少しているかも知れません。

皆さんが昭和生まれです。1回生は昭和20年生まれですから、被爆者手帳を持っている同窓生もいらっしゃるかも。右肩上がりの昭和の時代を生き抜いて、難関大学を卒業して日本で世界で活躍された同窓生も大

勢いらっしやるかも。退職金を満額貰えたのもこの年代の人たちだけかも。中には、そうでなかった同窓生もいらっしやるかも。

いずれにしても、活躍できるいい時代に生きられたと思います。

卒業からこれまでの人生で、なん百、なん千人と出会いはありましたよね。やはり青春を共にした高校三年間の友だちが一番、心を許して会話ができる真の友だちではないでしょうか。過去には「焼け木杭に火」があつて、第二の人生を送っている人もなん組あります。

このような同窓会の場を大切に続けていきたいですね。ひとつの目標として、「1回生が100歳を迎えるまで」はどうでしょう。





長崎の街と、南高と

退任挨拶に代えて

会長代理10回生 小岩寿樹

久しぶりの同窓会の開催ですが、コロナ禍で生活環境が変わってしまいました。この3年間、同窓生の皆様はどう過ごされていたのでしょうか？

私も齢六十九を過ぎ、ストレッチやウォーキングなどで、アンチエイジングを実践していますが、なかなか

か厳しい日々です。

私が関東同窓会の会長を引き受けてから、代理の時代を含め、およそ10年が経ちましたが、体力や知力の低下により「そろそろかな…」と思っておりまして。

南高の同窓会と長崎市やビードロ会とのつなぎ役で、皆様に長崎の街の情報を伝えて懐かしんでもらい、青春時代にタイムトリップしてもらおうと会長を引き受けました。果たしてその責務は全うできましたでしょうか。

この10年で、私自身も、長崎へは「帰省」ではなく「帰郷」に変わってしまい、家族構成も長崎よりさいたま、大和（神奈川）、宇都宮の占有率が高まりました。

来年の古希を前に、仙人生活を目指して、生活の基盤を家内の実家のある宇都宮に移そうと計画しています。ただ、多くの「柵」はなかなか解消し難く、数年かけての移行になりそうです。長崎の仲間との触れ合

いが少なくなることが少し淋しいですが、体力と気力があれば、年一回の同窓会には出てきたいと思っています。

長期にわたり、微力な私を支えていただきありがとうございます。

長崎はおもしろかばい

浦上をさるく

9回生 馬渡（中村）尚子

長崎生まれとはいえ、18歳で家出したようなものですから、学校と家のエリア以外の長崎は知らない私。少しは時間ができたいま、たまに長崎を旅しています。コロナ前には、学生時代の友人と出津まで足をのばしたり（ここも「長崎市」なんだと思うと不思議な感覚）。

今年、5月と8月には、浦上キリシタン資料館主催のさるく企画に参加。浦上地区のカトリックの歴史の



深さにふれました。小・中学校までは身近なエリアだった浦上地区ですが、半世紀以上の歳月が過ぎたいま、立派な旅人（異邦人）の一人になって、心の中で「へえ」「ほー」と感嘆の声を出しながら歩きました。

5月は本原教会から十字架山まで、雨上がりの上りの道を滑らないように歩きました。私には、幼い頃登った十字架山のイメージが残っていました。見晴らしのよい小高い丘…

しかし、てっぺんに立って見えたのは、周囲を囲む家々の屋根、また屋根。住宅が十字架の並ぶ広場をぐるっと取り囲んでいました。半世紀

という時の流れが家を運んできた、という感じ。あたりまえですよね。原爆忌が終わった8月、二十六聖人も歩いたという浦上街道を歩き、「秘密の教会」があった場所をたずねました。

「信徒発見」のあと、大浦天主堂から秘密裏に神父らが浦上に出向く、「巡回ミサ」が4カ所で行われていたそうです。1865年の信徒発見の百周年記念として、それぞれの地に石碑が立てられその後、説明板なども加わったと解説板にあります。

教会とは名ばかりの、粗末な小屋だった。そこに踏み込んで信者をと



らえ、各地に流刑のようにしたのが「浦上四番崩れ」。明治の世になろうとする時代に起こった一大宗教弾圧ですが、関東圏の人々には意外と知られていませんね。

当時の景色など想像することはまったくできませんが、今回初めて歩いて、高低差を感じ、浦上川との距離、といった感覚をつかむことができました（再び一人で歩け、と言われてもできそうにない）。

岩屋橋からまただらだらとのぼって、住宅地の裏山にある「小峰のルルド」（造ったときはただの山陰だったのでしょうが、ここも後から住宅がせまってきたのでしょう）、聖フランシスコ病院などもたずねました。

参加者は、東京人2人、長崎人2人、そしてその中間人の私の計5人でした。

長崎に帰ってボートとするだけでなく、長崎を知るためにさるくのもいいものですね。

遠きにありて想うふるさとが 老境の終の住処に

8 回生 古知屋律子

「老後の10年間、住みたいところに住んで、そこでやれることを探す」。祖父母のころから時を刻んだ藤沢市辻堂から長崎への転居を夫が決めたとき、私はのけぞりそうでした。

なみなみならぬ長崎愛はあるものの、長男の嫁の務め、子どもの実家がなくなる、湘南海岸まで歩いてゆける環境、地元での活動などなどへの思いがよぎりながらの引越でした。

長崎も変貌を遂げ、土地勘がないので取りあえず実家に落ち着くべく、埃と戦いながら片付け始めました。その過程で、両親の若い頃からの様子を、ゆっくりと追体験できたことはとてもよかったです。

また、染み入るような長崎のよさ

は、2、3日の帰省や観光ではわからないと実感。50年も昔から外国人と触れ合ってきた街、人々のやさしさとユーモア、どの場所に立っても小高い緑に守られているような安堵感、新鮮さに底上げされたな味覚の確かさなどがじわじわと感動にかわります。車のない私たちを友人たちが誘ってくれた西海市、島原半島、長崎半島は、手軽な所にあるのに言葉も出ないほど美しく、休日に車も人も見当たらないという奇跡。

遠きにありてふるさとを想う人たちや、本当の長崎をもっと知ってほしい他の土地の人たち、また海外の人たちが中長期に滞在できるシステムがあると、長崎は江戸末期のように人を呼び込む本来の熱気ある実力を発揮できるのに……

転居45日目の感想であり、願います。

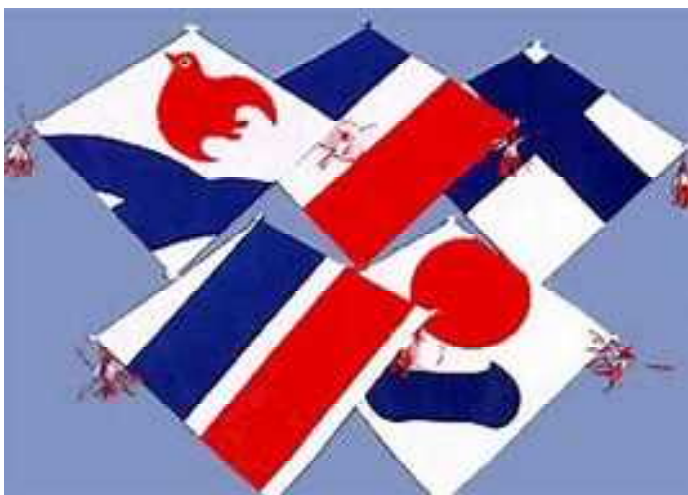
事務局だより

☆会 報

今回、総会案内を主な内容として会報(本来なら37号)を発行いたしました。本年6月末に36号を発行させていただきましたが、都合により680通しか発行できませんでした。今回は合併号として1450名の同窓生全員へ発送しています。重ねて熟読いただければ幸いです。

☆総 会

2019年レストランアラスカでの総会から、2020年・2021年・2022年と中止になって、2023年、4年ぶり開催となりました。初めての10月開催・初めての全員着席となりました。もうコロナは大丈夫かな? 皆さんも自然に歳を重ねて遠出意欲が薄らいでいないかな? など心配しながらの開催を決定しました。それで静かにゆっくり



お天気は最高だったのですが、川の風が強くてハタ上げには厳しかったかも…。一銭ハタ(?)が子どもたちに無料で配られたので、元気に走り回っていました。

南の関東同窓会には70名ほどの同窓生集まってくれて、3年分の談笑で賑わっていました。

いつもの二次会場が閉店になっていて、近くの中華屋さんに入ったら海星さん南山さん北高さんとバツテ

長崎市・在京の高校同窓会がメインとなって、また大田区の協力もあって区民も大勢参加されました。

多摩川ハタアゲ大会

2023年4月29日(昭和の日)、

京急・多摩川土手駅に近い多摩川河川敷で長崎ハタ上げ大会 in 東京が4年ぶりに開催されました。

長崎市・在京の高校同窓会がメインとなって、また大田区の協力もあって区民も大勢参加されました。



イングでした。コロナも真っ青になるほどの密でしたが、その後、陽性者もなく3年分の話が尽きなかったようです。





談笑ができる総会を目指したいと思っています。

開催場所は、とにかく まい泉(まいせん) 青山本店さんに決定しました。同窓生から推薦を受けました。大学とか他の会社とか良く利用されているとか。少し年輩の方でも満足いただけるそうです。料理もコース料理となっていて配膳されるようで、食事もうっとり味わえるようです。

とにかくだけではないので安心して下さい。

まい泉(まいせん)さんのHPを覗いたら、つぎのような説明がありました。昔は銭湯の建物だったそうです。日本建築の高い天井と中庭を愉しんでほしいですね。声も良く通るかもですね。タオルと石鹸はいりません。

1983年5月 青山本店レストラン 西洋館完成

本館のお隣の銭湯「神宮湯」が廃業されることになり、その建物を譲り受け、ダイニングルームとしてオープンさせました。昭和の古き良き日本建築をお客様にも愉しんでいただこうと、高い格天井や男湯・女湯の入り口、脱衣場から見える中庭など、今もそのままです。

↑まい泉のHPより

☆経 理

経理報告について、3年間も会報の発行ができなくて、年会費の願いもできない状態でした。よって収入がなくて、固定の費用だけの出費が重なり、決算報告ができるような数字ではありません。今回は見送りさせていただきます。

今年6月末日に臨時の会報36号を発行しましたところ、多くの年会費とたくさんの方の寄付・継続維持費を頂戴しました。ありがとうございます。

その報告を兼ねて、8月末日の残高試算表で報告をさせていただきます。来年の3月末日には決算報告書を作成して皆さまの承認を得られるようにしたいと思います。

残高試算表

2023年8月31日

収入費目	金 額	支出費目	金 額	残 高
繰越金				60,000
		はたあげ参費		40,000
		はたあげ開催費用		0
年会費 180名	360,000			360,000
寄付・維持費	88,000			448,000
手数料	△29,966			418,034
		36号会報切手	57,372	360,662
		36号印刷作成	105,000	255,622
		ホームページ維持	36,000	219,662
繰越金				219,662
(合 計)	418,034	(合 計)	258,372	

あとがき



関東地区では長崎東・西・南・北の同窓会、海星・工業の同窓会が熱心に同窓会活動を行っているようです（聞こえる範囲です）。

やはりどこの同窓会も参加者が少なくなっているようです。特異なこととしては、長崎西には「ピュアエイジの会」があって、新入生歓迎会をして30名ほど参加されているようです。長崎東に参加した時に、大学1年生が20名ほど参加していました。担任の先生が来賓だったようで、その先生の言葉がユニークでした。「昨日までランドセルを背負っていた子どもを6年間預かったら、こうなり

ました」でした。時代の流れでしょうね。おじいさん・おばあさん・お父さん・お母さん・孫たちが混在する同窓会になっていました。それはそれで、また難しい運営になりそうですね。

☆今後の会報発行

今まで毎年恒例の行事として同窓会総会が開催されて、当番幹事回生の皆さんが努力されて楽しいイベントが行われて、年会費もそれなりに納めていただけました。当たり前と

思っていました。コロナ、コロナ、コロナで3年間も自粛で止まっています。初めての経験でした。総会は総会参加費の中で運営できていました。年会費は一部、ハタア

ゲ大会の費用に充てて、ほとんどは会報フロムサウスの発行に充てていました。

りに年会費が振り込まれてきます。会報の必要性を痛感させられます。また長崎南高校がひとつのブランドになっているのかなとも思っています。

これから継続の必要性を感じながら発行のための労力は惜しまないのですが、費用負担がついてこなくなりそうなので、皆さんの知恵と意見を聞きながら、会報の内容、発行の方法・費用の負担方法など考えてみたいと思っています。その節はご協力を宜しくお願いいたします。

今号も表紙は小玉修作さん「7回生」の作品です。ありがとうございます。

フロムサウス 通巻三七号

二〇二三年九月二五日発行

編集／発行人

長崎南高校同窓会 江 勝弘

発行所 長崎南高校同窓会

〒831-0056 東京都府中市寿町

2-3-11-701 前田幸司方

www5.plala.or.jp/nagasakinokane/

東京都にお住まいの同窓生で親が被爆者手帳を持っている方へ

胃がん検診が胃カメラで受けられます

東京都には「被爆者の子」（いわゆる「被爆二世」）に対する健康診断と医療費助成の制度があります。健康診断（一般健診、がん検診）の胃がん検診はこれまでレントゲン（バリウム）しかありませんでしたが、今年度から胃カメラで受けることができます。もちろん、被爆者健診を実施している医療機関で、かつ胃カメラが可能であることが条件ですが、「バリウムがいやだなあ」と思ってこの制度を避けていた方には朗報です。

今年の実施期間は予約が無理かもしれませんが、来年度、覚えておいてください。